

暮らしの種

オノマトペで再編集した行為の枠組みで
次世代の都市での交わり方を蒔く・育てる



N00075

暮らしの種

藤野 正希(東北大学大学院)

志村 裕己(東北大大学院)

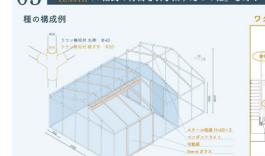


葛西町に入り口が集中したこと、掛け住宅の機械は都市に制修されていった。現代のICTで、都市だけでなくクラウド上に蓄積できるようになった。それは、住宅や都市において、従来通り、さらなる住宅のコンパクト化だけでなく、地域によって引き起こされていた行為であり、

03 提案 | NEXT の NEXT- 行為の『集積のさせ方』を実験する



05 住民階層「住民の行為を引き出すための種」を尋く



06 [共用エリザ「地域の行為を集積させるための塾」を育てる](#)



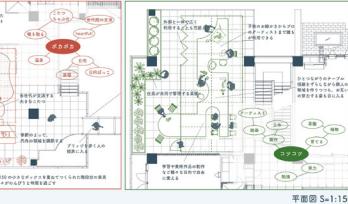
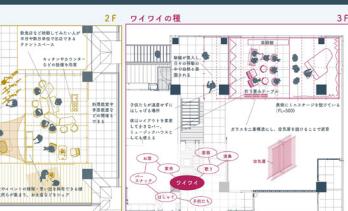
02 | 次の都市はもっと小さくてよい



04 手法 | “オノマトペ”による行為の再現



1



1

